

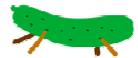


# せいなんだより 2016年8月号



〒814-0002 福岡市早良区西新 3-12-14

Tel 092-846-9207 Fax 092-846-9208



早良区子どもプラザ／西南子どもプラザ(愛称“せいなん”)は、福岡市の委託を受けて西南学院大学が運営しています。

## 8月の予定

開館時間:午前10時～午後4時

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	休館日	たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)	しんいち先生 (12:30～14:00)		おとうさん、 きんしゃい! 読み聞かせ 10:30～10:50 11:00～11:20
7	8	9	10	祝 11	12	13
休館日	しんいち先生 (12:30～14:00)		ふくろう先生 (12:30～14:30)			
14	15	16	17	18	19	20
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	保健師さん (10:30～12:00) ふくろう先生 (12:30～14:30)	ミニ講座 (10:30～11:30) International Day (10:00～12:00)	なつめ先生 (10:30～11:30)	
21	22	23	24	25	26	27
休館日		しんいち先生 (12:30～14:00) たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)			絵本タイム 10:30～10:50 11:00～11:20
28	29	30	31			
休館日		たろうちゃん (13:30～16:00)	ふくろう先生 (12:30～14:30)			

\*11日(山の日)とお盆の間も、通常通り開館しています。

## しんいち先生の「育児素人、父として格闘中」



8月ですね。夏休みですね。うちの家族の夏の趣味はキャンプです。今は昔と違って、オートキャンプ場に行けば、車はサイトに横付けできて、場所によってはサイト内に電源と水道もついていてとても楽。また、道具も色々売ってあって火おこしの苦労もあまりない(バーナーで調理すれば火おこしさえ不要)。だったらなんでわざわざ外にという気もしますが、うちの家族はたまに外で生活することが好きなようです。外で食事する(お酒をいただく)のは、とても気持ちがよく、また、山の中のキャンプ場なら、真夏でも涼しくて、焚火の火も心地よく、日常のストレスも吹っ飛ば気がします。

ストレスと言えば、今月のミニ講座は、学生さんも大変お世話になっている学生相談室常勤カウンセラー入濱先生です。本学の学生相談室は、学生生活の悩みについて幅広く相談に乗ってくれています(就活の悩みなども)。その意味で敷居の低い相談室です。そういうこともあるでしょうし、心の不調を感じる学生さんが増えているのかもしれませんが、近年は一昔前に比べて、相談に訪れる学生数がとても増えているそうです。私が知っている学生も何名か、これまで、大変お世話になってきました。普段から多数の相談を受け、信頼されている入濱先生のお話しを是非、聴きにいらしてください。

プラザ長を務めます田中慎一です。  
本学法学部で、商法、会社法を担当  
しています。  
2人の娘の父としても格闘中です。



## お知らせ



- ◎「西南クロスプラザ」(学生食堂)は8月9日(火)～9月14日(水)まで営業時間が変更になります。営業時間は10:00～17:00(ラストオーダー16:30)です。※8月10日(水)～16日(火)は夏季休業です。
- ◎ 今月のおはなししラビットさんの読み聞かせは、6日(第1土曜日)に変更しています。



毎日うだるような暑さが続き、外遊びするのも大変な季節になりました。この時期は幼稚園の休みも重なってたくさんの方が来館されます。その中でも幼児さんたちは元気いっぱい！エネルギーの塊のような男の子、ちょっとおませな女の子、いつものフロアとは雰囲気も違うので、0～1歳児の保護者の方は、ひやひやドキドキすることがあるかもしれませんね。そんな時は心配ばかりでなく、ちょっと観察してみませんか？あと2年後はうちの子もあんな感じかな、あの子はイヤイヤ期かしら？先輩ママの対応は？など参考になることがいっぱいあります。また先輩ママたちも赤ちゃんたちを見て、うちの子もあんな時期があったな、怒ってばかりだけど初心に戻って優しくしよう、などいろいろ感じるところがあるかも知れませんね。それでも危ないことがあれば、よその子でも遠慮なく声をかけたり注意をしてくださいね。子どもたちにとっては、保護者以外の人とたくさん交流をするのも貴重な経験です。皆で子どもたちを見守り、共に育てていきましょう(\*^\_^\*)



## リレーコメント

相談をお聴きしていると、情報の氾濫により、発達にも絶対的な正解があって、そのポイントを外すと不適切な関わりに落ちていってしまうかのような養育者の方々の不安を感じることがあります。個人の正しさに厳しい世間の風潮、この先どういう方向に伸びるかわからない乳幼児期の状態について、可能性と共にプレッシャーを養育者に感じさせているようです。現に日本の養育者の育児不安は非常に高いことが報告されています。一般向けの子育てメッセージは、「こういう子どものこうした状態から」という情報なしで対応のみが独り歩きしている場合もあります。しかし子どもの生まれつきの資質はSMAPの歌のように一人一人違うもの。では何をまとめて言えるかですが…目を合わせて意思を共有する瞬間の感触を味わおうということでしょうか。この感触に通じるものがあれば、乳幼児の皆さんは養育者から必要なものを吸収して、外の世界を探索し経験から学ぶことがしやすくなります。1、2歳の皆さんの目が合った瞬間、わかった瞬間のニヤリとした笑顔は重要な指標です。資質として、他者に意識が向きにくい子どもも存在しています。でも他者との楽しい経験の積み重ねがその発達の方向性を導きます。かのアインシュタインは5歳まで言語を話さなかったと伝えられます。様々な発達の道筋があることを信じて、皆さんで目を合わせて話していくことができればと思います。

(本学人間科学部児童教育学科准教授 鹿島なつめ) ※鹿島先生は毎月第3金曜日に相談を受けています。

## 行事のご案内



### ミニ講座

「こどもの時間～  
アタッチメントがつなぐ今・明日・未来～」

講師：西南学院大学学生相談室

常勤カウンセラー 入濱 直美さん

児童相談所から学生相談へ私の臨床フィールドが移りました。向き合う子どもたちも、幼児期・児童期から青年期と変化しました。ちいさなお靴の子どもたちも大きな靴の大人を目指してそだちの時間が流れていきます。今回は皆さまとご一緒に、流れていくこどもの時間をのぞいてみませんか？

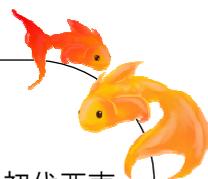
18日(木) 10:30～11:30

\*ミニ講座は、内容や日時を変えて月1回行います。

### ～先月のミニ講座より～

今回は本学人間科学部心理学科教授で、初代西南子どもプラザ長の中村奈良江先生に「子どもがいろんなことをまねするのはなぜ？」というテーマでお話をさせていただきました。

子どもが何かをまねした後「自分がした！」と主張したり、誰かの助言を自分のアイデアのように言うことはありませんか？それはミラーニューロンという脳の働きによるもの。まねをして相手の事がわかり、知識の伸びが大きくなります。しかしただまねをするだけではなく、大人が「どうしようか？」とヒントを与えたり、やりとりをして納得することが大切です。まねをしても「良い考えね！」と褒めてあげて、自尊感情を育てていきましょう。



☆プレママ・プレパパの訪問も随時歓迎します。お手数ですが、不審者対策のためプレママ・プレパパであることが確認できるもの(母子手帳など)をお持ちください。



西南子どもプラザ

検索



この“せいなんだより”は、前月下旬(25日頃)から“せいなん”で配布、また西南学院大学ホームページにも掲載しています。